

2021 年度



医療法人社団シャローム

年 報

2021 年度

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

令和 3 年度

(令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月)

～ 巻頭言 ～

医療法人社団シャローム 理事長 鋤柄 稔

2021年度の年報が作成されました。年報は、病院、法人の過去1年間の日記のまとめ、航海で言えば羅針盤です。年報は、我々の位置、方向を確認して、必要な修正を行うための資料となります。今後2～3年間は、医師の働き方改革の法制化が実効に移される2024年に向けて、綿密な検討が必要になってきます。開院以来、多くの困難を乗り越えてやってきましたが、2024年問題は最大の難関です。また、職員の満足度を上げるために、職員給与を世の標準に至らせることも重要だと考えています。これらの課題をクリアするためには現状の理解と新たな方策が必要になります。年報は、そうしたことのための、重要な資料の一つになります。職員各自が年報を参考にし、進むべき道を模索検討していただきたいと願っています。

シャローム創設から28年が経ちました。大きく発展したとは思いますが、いつも原点に戻ることも大事です。年報を通して、聖書の教えに基づき、主人である患者の召使になって懸命に働いた1年であったかを吟味することも大切であることを覚えてください。

2021年度 医療法人社団シャローム運営指針

(1) 新型コロナウイルス対策継続

(2) 病院機能評価受審

(3) 働き方改革継続

(4) 可及的な入院ベッド稼働

(5) 外来ブース補充

(6) 持ち分のない医療法人化

～理念、方針のバックボーンは聖書に拠る～

【理念(表題)】

私たちは聖書の教えに基づき、病める人々のご家族の痛みに寄り添い、心を合わせて、優しく温かい医療に努めます。

聖句 (イザヤ書 26 章 3 節)

あなたは全き平安をもって ころごしの堅固な者を
守られる
彼はあなたを信頼しているからである

【基本方針】

1. そのままに、あるがままに
2. あなたと私の Shalom (平安) (Shalom の共有)
 - ・患者中心主義 (Patient-Oriented) のもと、安全と安心な満足度の高い医療提供を行い、質の高い医療水準を維持するように努めます。
 - ・患者さんへの十分な説明、患者さんへの情報開示、セカンドオピニオンへの協力を努めます。
 - ・個人情報保護、患者さんの権利を尊重すること、患者さんからの声に耳を傾けることに努めます。
 - ・私どもは以下の方針を念頭におき患者さんへのケアにあたるよう努めます。
 - (1) 大切なのはどれだけ多くのことをやったかではなく、どれだけ心を込めてやったかである。
(マザーテレサ)
 - (2) 患者が主人で我々は召使である。(日野原 重明)
 - (3) ホスピスは建物ではない、哲学である。(シシリー ソンダース)
 - (4) Think globally act locally
 - (5) 職員全員参加によるケア提供
 - (6) 許し合いとチームワーク
 - (7) 謙虚さ
 - ・上記の理念・基本方針に基づき患者中心主義を貫く。
 - ・患者と職員の双方にシャロームが与えられる施設を目指す。

【使 命】

在宅医療、緩和医療、救急医療を特性とし、地域のニーズに呼応した多岐にわたる医療を行う。

【スローガン】

あなたのシャロームは私たちのシャロームです。

Your Shalom is Our Shalom.

病院概要

診療科

一般外来(内科、外科、禁煙外来)、皮膚科、緩和ケア内科、乳腺外科、小児科、循環器内科、神経内科、人工透析内科

その他〔人間ドック、健康診断、乳がん検診、各種予防接種、リハビリテーション科、透析センター他〕

検査機器

レントゲン、マンモグラフィー、CT、人工透析機器、超音波検査、心電図、上部・下部内視鏡

病床数 (2022年3月31日現在)

区分	許可病床	稼働病床	施設基準
一般病床	25床	14床	急性期一般入院基本料4 人員配置10対1
緩和ケア病床	30床	18床	緩和ケア病棟入院料2 人員配置7対1
計	55床	32床	
透析病床		27床	第1透析室20床・第2透析室7床

診療体制 (2022年3月31日現在)

区分	常勤医師	非常勤医師	備考
一般外来	7名	9名	常勤医師:病棟も兼任
乳腺外来	1名		
緩和ケア科	4名		2名:一般外来と兼任 1名:病棟担当
皮膚科	1名		
小児科	1名	2名	
神経内科		1名	
循環器内科		2名	
その他		2名	当直対応2名・透析回診1名

外来診療、検査、手術(外来・入院)、救急対応、透析、病棟診療、多職種カンファレンス、在宅及び施設訪問診療、学校健診、企業健診(産業医)、比企地区市町村健診、につさい医院診療

*全ての常勤医師は訪問診療に携わっており、入院患者も対応している。

*当直専門医師を1名増員し、医師の負担軽減を図った。

シャローム病院の特徴

在宅医療、緩和医療、救急医療を特性とし、地域のニーズに応じた外来診療、訪問診療、訪問看護(24時間在宅対応体制)を行う。

【埼玉県第二次保健医療圏:川越比企保健医療圏に属する】

(構成市町村) 東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、ときがわ町、鳩山町、東秩父村、川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町

職員数 (2022年3月31日現在)

常勤 140 名・非常勤 64 名

単位:人

職 種	常勤	非常勤	職 種	常勤	非常勤
医師	11	15	管理栄養士	1	0
正看護師	54	16	薬剤師	3	0
准看護師	3	5	医療福祉相談員	3	0
放射線技師	2	0	チャプレン	1	0
臨床検査技師	3	1	ボランティアコーディネーター	0	1
臨床工学技士	6	2	事務職員	29	14
理学療法士	4	0	看護補助者	17	6
作業療法士	1	0	守衛	1	1
運転手	0	3			

医療連携**【 連携施設 】**

- ・埼玉医科大学病院提携医療機関 ・埼玉医科大学総合医療センター医療連携協力施設
- ・埼玉医科大学国際医療センター医療連携施設 ・埼玉県立循環器・呼吸器病センター連携医療機関
- ・自治医科大学附属さいたま医療センター医療連携協力施設

【 東松山市内の医療機関病院 (7 施設) 】

埼玉成恵会病院、東松山病院、東松山医師会病院、東松山市民病院、大谷整形外科病院
武蔵嵐山病院、シャローム病院

認定・指定等

- ・二次救急告示病院(比企地区輪番:月・水・木・日担当) ・日本医療機能評価機構認定病院
- ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関 ・小児慢性特定疾病医療機関
- ・指定自立支援医療機関(精神通院医療:小児科)(育成医療・更生医療:腎機能)
- ・在宅療養支援病院(機能強化型・単独型) ・在宅難病患者一時入院事業受入機関
- ・指定医療機関 ・埼玉県域リハビリテーション協力医療機関
- ・埼玉県指定診療・検査医療機関 ほか

研修・指導施設

- ・臨床研修協力施設(厚生労働大臣認定) ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・埼玉医科大学病院臨床研修協力施設 ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・埼玉医科大学国際医療センター臨床研修協力施設 ・日本緩和医療学会認定研修施設

会 員

- ・日本ホスピス緩和ケア協会正会員施設 ・NCD 施設会員

建物の概要

区分	旧 棟	新 棟
4階	多目的ホール、医局、医師当直室、看護部長室、看護師長室、総務課、診療情報管理室 医療福祉相談室(事務所)	医局
3階	一般病棟、談話室、浴室、カンファレンス室 スタッフステーション	ボランティア室、相談室、チャプレン室、 家族宿泊室、家族浴室、リハビリ室、 研修室、屋上庭園
2階	透析室、透析デイルーム、透析機械室、手術室、 中央材料室、診療材料室、図書室、薬剤科	緩和ケア病棟、デイルーム、浴室(介護 浴・機械浴)、第2透析室
1階	医事課第1受付、外来診察室、採血室、放射線 科、生理機能検査室、内視鏡室、点滴処置室、 測定室、発熱外来、理学療法室、訪問看護ステー ション、介護支援事業所、ヘルパーステーション	医事課部門、医療福祉相談室、救急 室、皮膚科、小児科、授乳室、守衛室
地階	栄養科、厨房、職員食堂、休憩室、職員更衣室	

併設施設

- ・訪問看護ステーションシャローム
- ・介護支援事業所シャローム
- ・ヘルパーステーションシャローム

分院

- ・シャロームにつさい医院

医療法人社団シャローム シャローム病院 沿革

年 月 日	事 柄
1991 (平成 3) 年 3 月	冊子「キリストの医院を始めるにあたって」発行
1993 (平成 5) 年	シャローム債発行
1994 (平成 6 年) 4 月 1 日	シャローム鋤柄医院開設 (19 床)
1994 (平成 6 年) 10 月	法人化 (医療法人社団シャローム)
1999 (平成 11) 年 4 月 1 日	訪問看護ステーション シャローム開設
2000 (平成 12) 年 4 月 1 日	介護支援事業所 シャローム開設 ヘルパーステーション シャローム開設
2005 (平成 17) 年 12 月	有償移送サービス開始 機能強化型在宅療養支援診療所 (24 時間体制) となる 特養配置医 2 施設 東松山ホーム (東松山市)・吹上苑 (鴻巣市)
2004 (平成 16) 年 1 月 1 日	株式会社正木製作所の産業医となる
2006 (平成 18) 年 4 月 1 日	電成興業株式会社の産業医となる
2006 (平成 18) 年 12 月	増改築、全室個室化、透析室開設、理学療法室開設、電子カルテ 導入
2007 (平成 19) 年 3 月 1 日	指定自立支援医療機関 (精神通院医療) として指定される
2007 (平成 19) 年 4 月 1 日	東京農大第三高校学校医を受ける
2007 (平成 19) 年 6 月 1 日	指定自立支援医療機関 (育生・更生医療) として指定される

2007 (平成 19) 年 6 月 1 日	訪問リハビリテーション開始
2007 (平成 19) 年 9 月 13 日	臨床研修協力施設に指定される
2011 (平成 23) 年 4 月 1 日	シャロームにつさい医院開設 (坂戸市)
2012 (平成 24) 年 4 月 1 日	埼玉医科大学病院提携医療機関に指定される
2012 (平成 24) 年 8 月 1 日	埼玉医科大学国際医療センター医療連携施設に指定される
2013 (平成 25) 年 4 月	病院給食・清掃直営から委託となる
2013 (平成 25) 年 10 月 1 日	有床診療所から病院 (病床 55 床) へと移行する シャローム鋤柄医院からシャローム病院に名称を変更する 在宅療養支援病院 (強化型) となる
2014 (平成 26) 年 2 月 1 日	外来呼び出しシステム導入
2014 (平成 26) 年 8 月 1 日	日本消化器外科学会専門医指定修練施設に指定される
2014 (平成 26) 年 9 月 9 日	第二次救急告示病院 (救急指定病院) の認定を受ける 比企地区病院郡二次救急輪番制のうち木曜・日曜を担当
2014 (平成 26) 年 11 月	MCA無線購入 (埼玉県のMCA無線設置施設が 46 施設となる)
2014 (平成 26) 年 12 月 4 日	透析医療を考える会参加開始 埼玉県のMCA無線情報伝達訓練に参加開始
2014 (平成 26) 年 12 月 15 日	第 1 回埼玉県全域EMIS入力訓練参加
2015 (平成 27) 年 1 月 1 日	日本外科学会外科専門医制度関連施設に指定される
2015 (平成 27) 年 1 月 1 日	指定医療機関に指定される 指定小児慢性特定医療機関に指定される
2015 (平成 27) 年 4 月 1 日	病院組織によるボランティア活動開始
2015 (平成 27) 年 5 月 1 日	埼玉医科大学総合医療センター医療連携協力施設となる
2015 (平成 27) 年 7 月 1 日	透析患者送迎が委託から直営となる
2015 (平成 27) 年 7 月 14 日	第 2 透析室運用開始
2015 (平成 27) 年 8 月	守衛業務開始 (夜間、日・祝日日勤)
2015 (平成 27) 年 10 月 1 日	在宅難病患者一時入院事業受入機関となる
2015 (平成 27) 年 10 月 1 日	在宅患者の後方支援ベッド (1 床) 当番開始
2015 (平成 27) 年 12 月 10 日	比企歯科医師会 歯科衛生士による入院患者の口腔アセスメント 事業開始 (埼玉県歯科医師会委託による)
2016 (平成 28) 年 1 月 13・14 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価受審 (初回)
2016 (平成 28) 年 4 月 1 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価合格 認定病院となる
2016 (平成 28) 年 7 月 1 日	緩和ケア病棟開設 ※厚生局の認可 (保険診療)
2016 (平成 28) 年 11 月 1 日	日本ホスピス緩和ケア協会会員施設となる
2017 (平成 29) 年 3 月 31 日	埼玉県域リハビリテーション協力医療機関に指定される
2017 (平成 29) 年 4 月 1 日	比企地区二次救急病院群輪番制のうち日・月・水・木曜を担当
2017 (平成 29) 年 6 月 1 日	検査会社を保健科学より SRL に変更・院内至急検査開始
2017 (平成 29) 年 6 月 17 日	ホスピス講演会「この町のホスピスにやってくる」を主催
2017 (平成 29) 年 7 月 26 日	暖和室しゃろーむ ～がんと向き合う人の集い～ 開始
2017 (平成 29) 年 8 月 1 日	指定自立支援医療機関 (精神通院医療) に指定される
2017 (平成 29) 年 12 月 1 日	遠隔画像読影システムを構築
2017 (平成 29) 年 12 月 11 日	埼玉県立循環器・呼吸器病センター連携医療機関に指定される
2018 (平成 30) 年 5 月	MCS (メディカルケアステーション) を導入・利用開始

2018 (平成 30) 年 5 月 31 日	NCD (National Clinical Database) 施設会員となる
2018 (平成 30) 年 10 月 17 日	第 2 透析室に 2 台のチェア型ベッドを導入 (合計 27 床)
2019 (平成 31) 年 4 月 1 日	自治医科大学附属さいたま医療センター医療連携協力施設に認定される
2019 (令和元) 年 10 月 1 日	株式会社ヒシヌママシナリーの産業医となる
2020 (令和 2) 年 4 月 22 日	埼玉県保健医療部整備課より新型コロナウイルス感染症患者受入れに係る「重点医療機関」の指定を受ける
2020 (令和 2) 年 4 月 25 日	3 階病棟アコーディオンカーテン設置 (感染対策)
2020 (令和 2) 年 5 月 11 日～12 日	新型コロナウイルス軽症患者受入れ体制実施 (4 床)
2020 (令和 2) 年 6 月 12 日	日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設となる
2020 (令和 2) 年 8 月 10 日	検体検査室増設 (検査科)
2020 (令和 2) 年 8 月 17 日	院内 PCR 検査開始
2020 (令和 2) 年 9 月 1 日	新型コロナウイルス中等症患者受入れ体制実施 (5 床)
2020 (令和 2) 年 10 月 15 日	「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について」に基づく埼玉県指定診療・検査医療機関に指定される
2021 (令和 3) 年 3 月 9 日	社会福祉法人常磐福祉会 (常磐苑) の産業医となる
2021 (令和 3) 年 4 月 1 日	透析感染症患者受入個室 2 床開設・1 床増床 (計 28 床) 日本医療機能評価機構 病院機能評価認定更新
2021 (令和 3) 年 9 月 1 日	ピロティ陰圧ルーム設置
2021 (令和 3) 年 10 月 6 日	コロナ病棟閉鎖 (7 床) (重点医療機関の指定解除)
2021 (令和 3) 年 10 月 21 日	一般病棟として受入開始
2021 (令和 3) 年 11 月 22 日	第 2 透析室 1 床増床 (計 29 床)
2021 (令和 3) 年 11 月 26・27 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価受審・更新 (2 回目)
2021 (令和 3) 年 12 月 8 日	第 1 透析室でも On-Line 透析開始 (第 1.2 共に可能となる)
2022 (令和 4) 年 3 月 31 日	「持ち分無し医療法人」へ移行する

会議・委員会一覧

医療法人社団シャローム運営会議
 三頭会議
 拡大経営会議
 医療安全管理委員会
 セーフティーマネージャー委員会
 院内感染対策委員会
 院内感染対策チーム委員会
 医療事故調査委員会
 医療ガス安全管理委員会
 褥瘡対策委員会
 栄養管理委員会
 緩和ケア運営委員会
 暖和室シャローム運営検討委員会
 がんリハビリコーディネーター会議
 薬事委員会
 輸血委員会

救急検討委員会
 診療情報記録委員会
 診療情報管理委員会
 倫理委員会
 虐待・暴力対策委員会
 衛生委員会
 病院勤務医の負担軽減及び処遇改善会議
 看護職員の負担軽減及び処遇改善会議
 サービス向上委員会
 ボランティア活動検討委員会
 災害対策委員会
 医療機器管理安全管理委員会
 院内教育委員会
 広報委員会
 物品管理委員会
 ユニフォーム委員会

職員院内教育・研修の開催

院内教育委員会を中心に、年間を通して様々な勉強会を実施した。今年度は毎年開催している項目に加え、職員の能力開発として管理者育成のための研修や、当院主催の在宅緩和ケアに関する研修会を実施した。

開催日	内容	場所	講師	対象者	出席者数	出席率 (母数)
医療安全						
2021/8/16	今、改めて考える医療安全	動画視聴	東京海上日動 メディカルサービス	全職員	175	100.0
2022/2/2	ヒューマンエラーの理解	動画視聴	東京海上日動 メディカルサービス	全職員	175	100.0
2022/3/30	フィードバック報告会	3F研修室	各部署委員		発表者のみ	
院内感染対策						
2021/5/27	COVID-19スキルアップセミナー	Zoom	中外製薬株式会社		16	
2021/8/16	手指消毒について	3F研修室、Zoom	東京サラヤ株式会社	全職員	161	92.0 (175)
2021/12/15	埼玉西部インフルエンザセミナー 『COVID-19時代におけるインフルエンザ への対応を考える』	3F研修室	川野医院 院長 川野太郎 愛知医科大学 感染症科 教授 三嶋 廣繁		9	
2022/2/18	医療施設における環境整備	3F研修室、Zoom	東京サラヤ株式会社	全職員	150	82.0 (183)
緩和ケア						
2022/3/23	第19回埼玉県北部緩和ケア懇話会 「がん患者の疼痛治療と副作用対策」	Zoom	塩野義製薬株式会社		6	
褥瘡・皮膚ケア						
2021/4/30	DESIGN-R2020®を極めよう(DTI)疑い	3F研修室 (オンライン視聴)	スミス・アンド・ネフュー 株式会社	病棟看護師 訪問看護師	34	18.8 (181)
2021/11/11	おむつかぶれを予防しよう！ 根拠に基づいた失禁ケア&スキンケア	WEB視聴	白十字株式会社		2	
個人情報保護						
2021/6/23	デジタル社会と個人情報保護	動画視聴	シャローム (厚生労働省の動画)		32	17.7 (181)
救急症例検討会						
2022/3/1	呼吸不全で救急搬送された症例	3F研修室、Zoom	外来看護師 吉野尚美、早船恭子		20	
リハビリテーション						
2021/5/26	作業療法士の頭の中Part I 作業療法ってなんでしょう ～あなたの大切なものなんですか？～	3F研修室、Zoom	リハビリ室 作業療法士 鶴岡太一		13	7.2 (181)
予演会						
2021/12/8	医療的ケア児に対するSNS(MCS)を 用いた多職種連携の投稿内容・回数 にみる有用性	3F研修室	訪問看護ステーション 理学療法士 吉田圭佑		12	
職員能力開発						
2021/6/3～ 2022/6/14	マネジメント研修(全12回)	3F会議室	株式会社ZAC 新藤愛美	各部署長 主任他	20	
シャローム病院主催 地域研修・講演会						
2022/3/11	在宅緩和ケアオンライン研修会	Zoom	シャローム病院 比企医師会	職員地域の 医療従事者・ 住民	117	

地域医療・活動への参加

【嘱託医】

区分	法人名	所在地	期間等
産業医	東京農大第三高校・付属中学校	東松山市	2007(平成19)年4月1日～
	株式会社 正木製作所	東松山市	2004(平成16)年1月1日～
	社会福祉法人えがりて 吹上苑	鴻巣市	2004(平成16)年4月1日～
	電成興業株式会社	東松山市	2006(平成18)年4月1日～
	株式会社ヒシヌママシナリー	嵐山町	2019(令和元)年10月1日～
	社会福祉法人常磐福祉会	吉見町	2021(令和3)年年3月9日～
学校医	東京農大第三高校・付属中学校	東松山市	2007(平成19)年4月1日～
	かめめ保育園	滑川町	2020年(令和2)年7月13日～
嘱託医	東松山ホーム	東松山市	2004(平成16)年4月1日～
	社会福祉法人えがりて 吹上苑	鴻巣市	2002(平成14)年4月1日～
	シャロームガーデン坂戸	坂戸市	2011(平成23)年8月1日～
	社会福祉法人常磐福祉会 常磐苑	吉見町	2021(令和3)年3月9日～
	上記他 11 施設と嘱託医・医療協力機関として契約中		

【医師会活動や各種協議会への参加】 2021年度担当

団体名	担当内容	担当者
比企医師会	地域包括ケアシステム担当理事 ・介護保険関係 ・認知症関係 ・リハビリ関係 ・在宅医療関係	鋤柄 稔 院長
	災害医療担当理事	
	災害医療対策委員会委員	
	がん集団検診医会担当理事（肝がん）	
	在宅医療検討委員会委員長	
比企広域救急推進協議会	会員	
比企地区救急医療対策協議会	委員	
東松山保健所地域災害保健医療調整会議	委員	
比企広域 介護認定審査会	委員	
東松山市介護保険運営協議会	委員	
比企地区在宅医療・介護連携推進協議会	委員	
東松山市介護保険運営協議委員会	委員	
埼玉医科大学医学部	客員教授（地域医療）	
埼玉県保健医療部医療整備課 ACP 普及啓発講師人材バンク	登録講師	狩野 契 副院長

団体名	担当内容	担当者
東松山市就学相談調整会議	委員	中村 小百合 医師
医療・福祉連携プロジェクト会議	委員	
日本外科系連合学会	学会評議委員	小澤 修太郎 医師
埼玉県医師会 がん検診医会大腸がん検診委員	委員	
埼玉県救急電話相談	担当医	鋤柄 稔 院長 狩野 契 副院長 小澤 修太郎 医師 加藤 修一 医師
東松山地区安全運転管理者協会	理事	長谷部 真一 総務課長

【地域の検診実施】

<市町村> 東松山市・吉見町・川島町・滑川町・嵐山町・鳩山町・ときがわ町・小川町・東秩父村

<内 容> 乳がん・大腸がん・胃がん・肺がん・前立腺がん・肝炎ウイルス・結核・一般健診

乳幼児健診・認知症検診・人間ドック

【市町村の各種健診実施人数】

乳がん	大腸がん	胃がん	肺がん	前立腺がん	肝炎ウイルス	結核	一般健診
696	279	288	86	93	15	197	2

認知症	人間ドック
52	230

【院外での検診】

項 目	内 容	担当者
各種検診	乳がん検診（東松山市・吉見町）	藤内 伸子 医師 鋤柄 稔 院長
	乳幼児健診（東松山市）	中村 小百合 医師

【新型コロナウイルス関連】

<検査件数>

	院外（外注）PCR	院内 PCR	抗原検査
2020 年度	1033	274	8
2021 年度	3714	679	0

< 当院による新型コロナワクチン接種 >

区 分	接種回数	
	2020 年度	2021 年度
医療従事者(自院)	220	297
医療従事者(他院)	1138	2410
地域住民	1070	3123
高齢者施設	1291	4098
在宅(自宅)	270	672
入院	277	14
その他	25	118
合計	4291	10732

< 地域での新型コロナワクチン接種への協力 >

集団接種会場	医師派遣回数
東松山 1 (松山市民活動センター)	37
東松山 2 (野本市民活動センター)	18
吉見町 (吉見町民会館)	29
川島町 (川島町民会館)	16
嵐山町 (ふれあい交流センター)	7
滑川町 (滑川町総合体育館)	17
鳩山町 (地域包括ケアセンター)	19
小川町 (小川町総合福祉センターパトリアおがわ)	11
派遣回数合計	154

認定看護師の活動

患者さんご家族により良い看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めている。

分 類	人 数	所 属
緩和ケア認定看護師	1名	緩和ケア病棟
がん性疼痛認定看護師	1名	一般病棟

【同行訪問】

「緩和ケア認定看護師」が担当の訪問看護師に同行してお宅を訪問し、療養のサポートをしている。

同行訪問地域	件数	担 当
東松山市	2	片山和美 緩和ケア認定看護師
川島町	3	
鴻巣市	3	
小川町	2	
熊谷市	2	
合計（2021年度）	12	

【緩和ケア相談等】

「緩和ケア認定看護師」が、患者さん・ご家族のお悩みや心配事、疑問などを伺い、不安な気持ちに寄り添っている。下記の他にも訪問看護ステーションや薬局からの相談電話が多数あり、随時対応している。

相談分類	件数	担 当
外来相談	6	片山和美 緩和ケア認定看護師
遺族ケア	3	
その他相談	9	
合計（2021年度）	18	

研修や指導への取り組み

【研修施設の認定】

- ・臨床研修協力施設(厚生労働大臣認定)
- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・埼玉医科大学病院臨床研修協力施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・埼玉医科大学国際医療センター臨床研修協力施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設

【研修受入れ実績】

	所属	期間	人数	受入部署
中学生	東松山市立東中学校 (社会体験チャレンジ事業)	コロナ禍の影響により中止	/	/
	東松山市立北中学校 (社会体験チャレンジ事業)	コロナ禍の影響により中止	/	/
	東京農業大学第三高等学校附属中学校 (社会体験チャレンジ事業)	コロナ禍の影響により中止	/	/
看護学生	埼玉医科大学保健医療学部看護学科 実践応用の看護学実習	2021年8月30日～9月24日	計4名	看護部
	埼玉医科大学保健医療学部看護学科	2021年5月10日～7月1日	計6名	訪問看護
聖書学院	東京聖書学院(教員・学生)	コロナ禍の影響により中止	/	/
准教授	清泉女学院大学	9月17日(金)	1名	チャプレン
医大生	埼玉医科大学医学部4年生	コロナ禍の影響により中止	/	/
	埼玉医科大学医学部6年生	コロナ禍の影響により中止	/	/
	メキシコより国際留学生	2022年1月～2月(前半)	1名	/
研修医	埼玉医科大学病院(研修医)	2021年6月～2月	計7名	医局
障がい者雇用	雇用に向けた職場実習	2021年7月26日～30日	1名	総務課

教育・啓発活動

講演等

鋤柄 稔 院長

【講演】

在宅緩和ケア オンライン講演会 シャローム病院主催 比企医師会共催

「在宅緩和ケアにおける看取りへの支援～症例を通して～」

2022年3月11日（金）19：00～20：30 当院3階研修室にて（オンライン配信）

演者：院長 鋤柄稔、緩和ケア認定看護師 片山和美、社会福祉士 永井純子

訪問看護師 道畑恵利、訪問看護師 山口あさみ（鶴ヶ島訪問看護ステーションピアラボ）

小澤 修太郎 医師

【講演】

中小病院における COVID-19 への対応 ー発熱外来を中心にー

第61回 城西大学薬学部 生涯教育講座

城西大学 坂戸キャンパス 2021年10月16日

片山 和美 看護師長 ※緩和ケア認定看護師

【講演】

在宅緩和ケア オンライン講演会 シャローム病院主催 比企医師会共催

「在宅緩和ケアにおける看取りへの支援～症例を通して～」

2022年3月11日（金）19：00～20：30 当院3階研修室にて（オンライン配信）

演者：院長 鋤柄稔、緩和ケア認定看護師 片山和美、社会福祉士 永井純子

訪問看護師 道畑恵利、訪問看護師 山口あさみ（鶴ヶ島訪問看護ステーションピアラボ）

永井 純子 社会福祉士

【講演】

在宅緩和ケア オンライン講演会 シャローム病院主催 比企医師会共催

「在宅緩和ケアにおける看取りへの支援～症例を通して～」

2022年3月11日（金）19：00～20：30 当院3階研修室にて（オンライン配信）

演者：院長 鋤柄稔、緩和ケア認定看護師 片山和美、社会福祉士 永井純子

訪問看護師 道畑恵利、訪問看護師 山口あさみ（鶴ヶ島訪問看護ステーションピアラボ）

相良 君映 看護師 ※がん性疼痛看護認定看護師

【講師】

特別講座「ターミナルケア」

2021年6月7日（月）9：05～12：15

東京都立城南職業能力開発センター(介護サービス科)

特別講座「ターミナルケア」

2021年12月13日（月）9：05～12：15

東京都立城南職業能力開発センター(介護サービス科)

論文・学会発表等

小澤 修太郎 医師

【論文】

「杓創が原因と思われる肛門周囲膿瘍の1例」

小澤修太郎 鋤柄稔 狩野契

埼玉県医学会雑誌 第56巻 第2号 P. 400-403 2022年3月号

齋藤 翔太 臨床工学技士長

【学会座長】

一般演題3：代謝②

第31回埼玉臨床工学会 2021年6月27日（日） オンライン開催

吉田 圭佑 理学療法士（訪問看護ステーション）

【学会発表】

「医療的ケア児に対するSNSを用いた多職種連携の投稿内容・回数にみる有用性」

第30回埼玉県理学療法学会 2022年1月23日（日） オンライン開催

県や地域からの表彰

鋤柄 稔 院長

【埼玉県知事表彰（保健衛生功労者）】（2021年11月18日）

長年にわたる医師としての活動を称え、第74回埼玉県医師会創立記念表彰式にて、保健衛生功労者として埼玉県知事表彰を受賞。

【東松山市長より感謝状】（2022年1月27日）

新型コロナウイルス感染対策のため寄付し地域福祉業に貢献したとして感謝状が授与された。

【第10回 日本医師会 赤ひげ大賞】（2022年3月18日）

地域の医療現場において長年にわたり住民の健康管理に尽力し、人々が安心して暮らせるまちづくりに大きく寄与した功績が認められ、「赤ひげ大賞」を受賞。



長谷部 真一 総務課長

安全運転管理者として、安全運転管理を積極的に推進し、交通事故防止に多大な貢献をしたことを、東松山警察署長および東松山地区安全運転管理者協会に表彰された。



院内行事・イベントなどの記録

- ◆開院記念のお祝い(食事会中止)
2021年4月15日(木)



- ◆防災訓練・消防訓練
2021年8月19日(金)・11月18日(金)



- ◆埼玉県知事来訪 2021年9月21日(水) 県より医療従事者への感謝



- ◆全体災害シミュレーション 2021年12月19日(月)



◆病院機能評価受審 2021年11月26日(金)・27日(土) 認定2022年3月4日(金)



◆クリスマス・キャロリング 2021年12月22日(水)



◆日本医師会赤ひげ大賞受賞 2022年3月18日(金)
(受賞式: 5月12日)



臨床指標

臨床指標（クリニカルインディケーター）とは



医療の質を数で表し評価する指標のことです。
病院全体の指標や当院の特色を踏まえた独自の指標を設定・分析し、改善を促すことにより、医療の質の向上を図るとともに、患者さんに分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

○病院全体に関する指標

○外来患者実績

- ・ 初診外来患者数 初診料を算定した患者数を示しています。
- ・ 延外来患者数 外来を受診された患者数を示しています。
- ・ 1日平均患者数 1日平均何人の患者さんが外来受診されたかを示しています。
延外来患者数/外来日数

単位:人

	内科	緩和ケア科	皮膚科	乳腺科	小児科	循環器科	神経内科
初診外来患者数	8318	154	2998	797	916	31	20
延外来患者数	57515	1005	13434	1713	3957	1432	889
1日平均患者数	196	7	57	10	14	14	18

○透析患者実績

外来、入院で透析実施した数を示しています。

単位:人

外来患者数	11537
入院患者数	141

- ・ HD (血液透析) 半透膜を介して血液と透析液を接触させ、拡散の原理によって不要な水分や老廃物を除去する方法です。
- ・ offline HDF (血液ろ過透析) 大きなサイズの物質の除去に優れるHF(血液ろ過)と、小さなサイズの物質の除去に優れるHDの欠点を補うような特徴をもつ方法です。

単位:人

HD	7898
offline HDF	352

- ・ CART (腹水ろ過濃縮再静注法) 腹水をバックに取り出し、その後ろ過器を用いて細菌や癌細胞等を除去した後、濃縮器で除水を行い、アルブミン等の有用な物質を濃縮して再び体内に点滴で戻す方法です。
- ・ PTA (経皮的血管拡張術) 内シヤント血管の狭窄部に、風船のついたカテーテルを、挿入し、そこに生理食塩水を注入し膨らませることによって狭窄部を拡張する手術です。

単位:人

CART	7
PTA	39

○当院全体での看取り件数

当院医師が最期を看取った件数を示しています。

単位:人

	自宅	施設	当院
悪性腫瘍	99	1	174
それ以外	26	66	22

高齢者施設で往診し最期を看取った件数を示しています。

単位:人

東松山ホーム（東松山市）	9
吹上苑（鴻巣市）	26
シャロームガーデン坂戸（坂戸市）	8
常磐苑（吉見町）	12
その他施設	12

○手術件数

手術室で行われた件数と麻酔使用別の件数を示しています。

単位:件

緊急手術	0
悪性腫瘍手術	0

麻酔別 単位:件

全身麻酔	1
腰椎麻酔	6
局所麻酔	7

手術項目別 単位:件

鼠径ヘルニア手術	5
ミリガン・モーガン手術 結紮術	1
内痔核根治術(PPH)	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm以上6cm未満)	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm未満)	3
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径4cm以上)	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm未満)	1
乳腺腫瘍摘出術(長径5cm未満)	1

- ・ クリニカルパス 手術を受けられる患者さんの手術過程を解りやすく時系列に沿って一覧にまとめた計画書の数を示しています。

単位:件

鼠径ヘルニア手術	4
痔核手術	1

・24時間以内の再手術率

手術終了後24時間以内に再手術を実施した割合を示しています。

24時間以内の予定外再手術件数/総手術件数

・術後の肺塞栓発生率

術後に肺塞栓症(血栓が肺動脈に詰まり、呼吸困難や胸痛を引き起こす疾患)を
発症してしまった患者さんの割合を示しています。

術後肺塞栓発生件数/手術を受けた退院患者数

・手術開始1時間以内の予防的抗菌剤投与率

手術部位感染を予防する対策の一つとして手術前後の抗菌薬投与があり、
このため手術開始1時間以内に適切な抗菌薬を投与した割合を示しています。

手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与された退院患者数
/手術を受けた退院患者数

・クリニカルパス使用率

パスが適用された割合を示しています。

クリニカルパスを使用した外科退院患者数/手術を受けた退院患者数

単位: %

24時間以内の再手術率	0
術後の肺梗塞発生率	0
手術開始1時間以内の予防的抗菌剤投与率	100
クリニカルパス使用率	71

○入院患者実績

- ・ 在院患者延数 年間の24時現在の患者さんの数を示しています。
- ・ 新入院患者数 年間の入院した患者さんの数を示しています。
- ・ 退院患者数 年間の退院した患者さんの数を示しています。
- ・ 平均在院日数 入院してから退院するまでの期間が平均で何日かを示しています。
年間在院患者延数/{(新入院患者数+退院患者数)/2}
- ・ 予定入院患者数 他院からの転院や手術等の予約をして入院した年間の患者数を示しています。
- ・ 緊急入院患者数 救急搬送されての入院や外来診療時に処置等が必要で緊急入院した年間の患者数を示しています。
- ・ 病床利用率 病床がどの程度、効率的に稼働しているかを示しています。
(年間在院患者延数/年間病床延数) × 100
- ・ 病床稼働率 運用病床に対して患者さんがどのくらいの割合で入院しているかを示しています。
{(在院患者延数+退院患者数)/年間病床延数} × 100
- ・ 在宅復帰率 当該病棟においての在宅復帰率を示しています。
該当する病棟から、自宅又は自宅以外の居宅へ退院した患者数/
退院患者のうち、死亡退院・転棟・再入院患者を除いた患者数
- ・ 死亡率 病院内で死亡する患者さんの割合を示しています。
死亡退院患者数/年間退院患者数

	一般病棟	緩和ケア病棟
在院患者延数(人)	2445	7474
新入院患者数(人)	230	281
退院患者数(人)	222	287
平均在院日数(日)	11	27
予定入院患者数(人)	69	149
緊急入院患者数(人)	157	120
病床利用率(%)	27	68
病床稼働率(%)	29	71
在宅復帰率(%)	79.3	94.0
死亡率(%)	12.6	55.7

○2週間以内の退院サマリー作成率

- 退院サマリー 入院経過や検査所見など入院中の治療内容を簡潔にまとめたもので、退院後速やかに作成されるものです。
退院後2週間以内に退院サマリーが作成された件数/退院患者数

単位：%

	一般病棟	緩和ケア病棟
医師	96	81
看護師	99	91

○内視鏡件数

胃カメラ、大腸カメラの件数を示しています。

単位：件

	件数(うち経鼻)	
上部内視鏡検査	1296	(1162)
下部内視鏡検査	366	

処置目的内訳 単位：件

ポリープ切除術	14
粘膜切除	84
粘膜下層切開剥離	0
胃瘻造設術	0
止血術	11
異物除去	0

○褥瘡件数

- 褥瘡 寝たきりなどによって、同じ場所にずっと体重がかかり圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚が損傷することです。
- 発生率 院内で新規に褥瘡発生した割合を示しています。
(入院後に発生した褥瘡患者数/実入院患者数) × 100
- 保有率 入院している患者の中に褥瘡を保有している割合を示しています。
(保有する患者数/実入院患者数) × 100

単位：%

	全体
発生率	3.4
保有率	12.2

○リハビリテーション患者実績

理学療法士、作業療法士が行った年間のリハビリテーション新規・終了患者数、算定別数を示しています。

単位：人

	全体（うち緩和ケア病棟）	
新規患者数	242	(164)
終了患者数	250	(175)

算定別（1単位=20分）

	脳血管疾患	廃用症候群	運動器	呼吸器	がん	緩和ケア病棟
延人数(人)	209	200	39	373	267	2901
延単位数(単位)	464	403	99	706	491	5966

○栄養指導件数

糖尿病・腎臓病・心臓病・高脂血症・高血圧・肝臓病などの日々の食事について管理栄養士が指導した数を示しています。

単位：件

	外来	入院	訪問
栄養指導	42	0	0

○カルテ開示件数

診療の過程で得られた、患者さんの身体状況、病状、治療等の情報をカルテ等での開示で提供した数を示しています。

単位：件

開示件数	5
------	---

○検診件数

市町村で行われている各検診の数を示しています。

単位：件

	乳がん	大腸がん	胃がん	肺がん	前立腺がん	肝炎ウイルス	結核	一般健診
東松山市	367	98	98	-	-	-	-	-
吉見町	158	136	130	31	69	12	197	-
川島町	18	41	40	48	24	3	-	2
滑川町	106	-	15	-	-	-	-	-
嵐山町	15	4	3	7	-	-	-	-
鳩山町	5	-	2	-	-	-	-	-
ときがわ町	15	-	-	-	-	-	-	-
小川町	9	-	-	-	-	-	-	-
東秩父村	3	-	-	-	-	-	-	-

※「-」は実施無し。

市町村で行われている認知症検診の数を示しています。

単位:件

東松山市	34
吉見町	18
鳩山町	0
小川町	0

人間ドックの数を示しています。

単位:件

	件数 (うち助成金使用)		件数 (うち助成金使用)
東松山市	153 (131)	鳩山町	2
吉見町	43 (32)	ときがわ町	0
川島町	16 (16)	小川町	2
滑川町	4	東秩父村	0
嵐山町	1	その他市町村	9

○救急医療に関する指標

第二次救急告示病院(救急指定病院)として救急搬送の受入を行っています。

- ・ 受入 救急搬送受入の数を示しています。
- ・ 一時受入 一時受入の数を示しています。
- ・ 不可 救急搬送不可の数を示しています。
- ・ 応需率 救急搬送の受入率
受入数/救急要請数

受入(件)	239
一時受入(件)	3
不可(件)	192
応需率(%)	55.5

○入院緩和ケアに関する指標

緩和ケアとは、病によって窮地に立つ患者さんとご家族が、一日一日を心穏やかに過ごし、人生という旅路を平安に生き抜くことを支えるケアです。人間としての尊厳を保ち、身体の苦痛をやわらげ、心の苦しみと悲しみを共に担い、喜びあるいのちを大切にします。

・平均年齢

該当病棟入院患者さんの平均年齢を示しております。

単位：歳

平均年齢	73
------	----

・悪性腫瘍臓器別分類

当該病棟において、がん罹患数を臓器別で分けた数を示しています。

単位：件

胃	25	十二指腸	4	外耳道	3
肺	50	盲腸	2	尿管	2
食道	9	前立腺	8	悪性リンパ腫	8
膵臓	35	甲状腺	2	咽頭	5
肝臓	7	腹膜	2	口腔	3
胆管	13	乳房	27	肛門	2
胆のう	4	子宮	11	胸膜	2
腎臓	3	卵巣	17	腎盂	1
膀胱	15	歯肉	2	卵管	1
結腸	18	舌	3	原発不明	2
直腸	20	皮膚	3		

○在宅医療に関する指標

当院は、在宅療養支援病院として、患者さんが住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるよう、求めに応じ24時間在宅医療が可能な体制を確保し、緊急時に在宅で療養を行っている患者さんが直ちに入院できるなど、必要に応じた医療を提供できる病院です。

訪問診療・往診を行った回数を示しています。

- ・ 訪問診療 通院困難な患者さんのご自宅等に、医師が定期的に訪問診察することです。必要に応じて臨時往診や入院先の手配などを行います。
- ・ 往診 患者さんからの依頼に基づき、急変時・緊急時に自宅を訪問し、診察することです。

単位:回

訪問診療	往診 (うち緊急)
2203	582 (199)

- ・ 在宅医療看取り 訪問診療・往診を行っている患者さんの看取り件数を示しています。

単位:人

	自宅	施設	当院	他院
看取り数	123	45	95	36

※在宅療養支援病院に係わる報告書をもとに算出

- ・ 自宅で看取りを行った地域を示しています。

単位:人

東松山市	39	東秩父村	0	鴻巣市	8
鳩山町	5	川島町	14	坂戸市	3
吉見町	12	ときがわ町	0	鶴ヶ島市	2
嵐山町	6	川越市	2	行田市	5
滑川町	3	熊谷市	16	北本市	1
小川町	7	寄居町	1	越生町	1

- ・ 連携訪問看護ステーション市町村別事業所数

単位:事業所

東松山市	9	鴻巣市	5	北本市	2	深谷市	2
行田市	4	毛呂山町	1	寄居町	1	加須市	1
鳩山町	1	坂戸市	2	川越市	1	川島町	3
嵐山町	1	狭山市	1	熊谷市	4		
小川町	2	鶴ヶ島市	1	ときがわ町	1		

- ・ 主な訪問診療地域

東松山市 吉見町 川島町 滑川町 鳩山町 嵐山町 寄居町 ときがわ町
小川町 坂戸市 熊谷市 鴻巣市

○地域連携に関する指標

- ・ 紹介率 他医療機関から紹介状を持参された人の割合を示しています。
 $(\text{紹介患者数} + \text{救急患者数}) / \text{初診患者数}$
- ・ 逆紹介率 当院から他の医療機関へ紹介した人の割合を示しています。
 $\text{逆紹介患者数} / \text{初診患者数}$

紹介患者数(人)	732
救急患者数(人)	207
初診患者数(人)	12854
紹介率(%)	7.3

逆紹介患者数(人)	1375
初診患者数(人)	12854
逆紹介率(%)	10.7

- ・ 広報誌発行 当院の医療サービスや取り組み、実績などの情報を患者さんや地域の医療機関等へ発信しています。

発行回数(回)	4
広報誌発行部数(部)	2700
配布施設数(施設)	396

○検査に関する指標

COVID-19のPCR検査を外注・院内と行っています。

当院で検査した方の陽性率を示しています。

陽性者数/検査人数

単位:件

	外注PCR	院内PCR	抗原検査
COVID-19検査	3714	679	0

陽性者数(人)	721
陽性率(%)	16.4

検査科で行っている各検査の数を示しています。

単位:件

心電図	2303
腹部エコー	990
循環器エコー	637
表在エコー	1068
ホルター心電図	74
呼吸機能	247
聴力	404
眼底検査	227
眼圧検査	227
脈波	182
院内血液検査	2043
院内生化学検査	2115

単位:単位

交差適合試験	438
--------	-----

放射線科で行っている各検査の数を示しています。

単位:件

一般撮影	3293
マンモグラフィー	1482
CT検査	2051
胃造影	43
大腸造影	4
血管造影	38
他、造影	16
紹介用画像作成	527
遠隔画像診断	1295

○薬剤に関する指標

- ・ 薬剤管理指導

医師の同意に基づいて患者さんが薬を正しく使えるように、医師や看護師などと連携をとりながら、薬の効果、使い方、注意点などの説明を行っています。
指導実施件数と内訳の数を示しています。

単位:件

薬剤管理指導 実施件数	423
-------------	-----

内 訳 (緩和病棟は除く)

管理指導1 (特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は 注射されている患者の場合)	18
管理指導2(1の患者以外の場合)	101
麻薬	18
退院	54

- ・ ジェネリック使用率

当院の入院で使用される全薬剤のうち、ジェネリック(後発医薬品)が占める割合です。
 $\frac{\text{後発医薬品の数量}}{(\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量})+(\text{後発医薬品の数量})}$

- ・ カットオフ値

$\frac{(\text{後発医薬品}+\text{後発医薬品のある先発医薬品})}{\text{全ての医薬品}}$

単位:%

ジェネリック使用率	85.12
カットオフ値	73.24

○医療安全に関する指標

- ・ 安全のための報告書件数

院内で発生した医療事故等の報告をできる限り収集し、対策を講じることで、重大な医療事故の発生を防いでいます。

単位: 件

報告書件数	474
-------	-----

報告部署内訳

医局	16	透析	91	放射線	3	栄養	5
外来	67	手術	0	検査	3	医事	16
緩和ケア病棟	173	中材	0	リハビリ	10	訪問看護	23
一般病棟	53	救急外来	0	薬剤	13	その他	1

- ・ 転倒転落件数

病院全体での転倒転落の件数を示しています。

原因や要因について分析等を行い予防策を講じて、防いでいます。

単位: 件

転倒転落件数	76
--------	----

発生部署内訳

外来	1	一般病棟	18	放射線	2
緩和ケア病棟	50	透析	3	リハビリ	2

- ・ 入院中の転倒転落発生率・転倒転落による骨折発生率

入院している患者さんの中には年齢や病気の影響により転倒したり、ベッドなどから転落したりする可能性が高い方もいます。

原因や要因について分析等を行い予防策を講じて、防いでいます。

入院中の転倒・転落件数/入院延患者数×1000(‰)

転倒転落件数による骨折件数/入院延患者数×1000(‰)

	転倒転落件数(件)	入院延患者数(人)	発生率(‰)
緩和ケア病棟	50	7758	6.4
一般病棟	18	2662	6.8
病棟全体	68	10420	6.5

	転倒転落件数による骨折件数(件)	入院延患者数(人)	発生率(‰)
緩和ケア病棟	0	7758	0.0
一般病棟	0	2662	0.0
病棟全体	0	10420	0.0

- ・ 針刺し件数

院内で発生した針刺し事故の件数を示しています。

原因分析を行い、感染対策につなげています。

単位: 件

針刺し件数	3
-------	---

○感染に関する指標

- 抗菌薬使用量**

抗菌薬の使用量が増えることで薬剤耐性菌が選択されてしまう可能性もあり、抗菌薬の使用量やよく使われている抗菌薬の種類を把握し適正に使用しています。
 (抗菌薬使用量/DDD)/在院患者延数×1000
 AUD値: 抗菌薬使用密度。抗菌薬使用量の評価方法です。
 DDD: 病院間での比較のため、抗菌薬使用量を標準化する目的で使用します。

2021年度在院患者延数 9919人

抗菌薬種類	一般名(販売名)	DDD(g)	使用量	AUD (g/日・1000人)
ペニシリン系				40.18
	スルバクタム/アンピシリン	9	189	2.12
	タゾバクタム/ピペラシリン	15.75	5944.5	38.07
セフェム系第1世代				1.75
	セファゾリン	3	52	1.75
セフェム系第2世代				0.76
	セフメタゾール	4	30	0.76
セフェム系第3世代				37.97
	セフトリアキソン	2	753	37.97
オキサセフェム系(第4世代)			0	0.00
カルバペネム系			0	0.00
アミノグリコシド系			0	0.00
マクロライド系			0	0.00
テトラサイクリン系				2.82
	ミノサイクリン	0.2	5.6	2.82
ホスホマイシン系			0	0.00
グリコペプチド系			0	0.00
ニューキノロン系				6.76
	レボフロキサシン	0.5	33.5	6.76
その他			0	0.00

- COVID-19対応病棟**
 当院では地域の感染状況に応じ、COVID-19の患者さんの入院受入を2021年10月まで行いました。

在院患者延べ数(人)	907
新入院患者数(人)	102
退院患者数(人)	106
平均在院日数(日)	9
病床利用率(%)	68.8
病床稼働率(%)	77.0
死亡率(%)	1
在宅復帰率(%)	80.0
平均年齢(歳)	50

・ インフルエンザ予防接種率

患者さんへの感染を防ぐため、職員へのワクチン接種を行っています。

インフルエンザワクチン接種対象者数/職員数合計

単位:人

総数	219
接種済	211
接種を希望しない理由書を提出している者	8

単位:%

接種率	100
-----	-----

※接種を希望しない理由書を提出している者は含めない

○認定看護師に関する指標

- ・ 認定看護師
高度化し専門分化が進む医療現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。
患者・家族によりよい看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めています。
- ・ 緩和ケア認定看護師同行訪問件数
緩和ケアを専門に学んだ「緩和ケア認定看護師」が、担当の訪問看護師に同行してお宅を訪問し、療養のサポートをします。
専門知識を生かして、最期まで患者さんがその人らしく生きることを応援します。

単位:件

同行訪問件数	12
--------	----

- ・ 同行訪問地域件数

東松山市	2	小川町	2	鴻巣市	3
川島町	3	熊谷市	2		

- ・ がん患者指導管理料
悪性腫瘍と診断された患者さんに対して
イ 医師が看護師と共同して診療方針等について話しあい文章等により提供を行った件数
ロ 医師又は看護師が心理的不安を軽減するための面接を行った件数

単位:件

指導管理料イ	0
指導管理料ロ	0

○その他の指標

患者満足度

- 満足度調査・ご意見箱投書件数

当院が提供するサービスに対して、患者さんがどのように感じているかを把握し、その結果を反映していくことで、医療サービスの一層の充実を図るために実施しています。引き続き維持向上できるように努めていきます。

今年度はコロナ禍における感染対策の為小規模実施とし入院のみの実施です。

総計 28名（緩和ケア病棟5名 一般病棟23名）

性別 単位：人

男性	女性	未記入
13	13	2

年齢 単位：人

～20代	30～40代	50～60代	70代以上	未記入
3	13	9	2	1

記入者 単位：人

患者さん	ご家族	付き添い	その他	未記入
24	1	0	0	3

1. 当院医師の患者さんへの対応について

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
1. 診察の内容	24	3	1	0	0	0
2. 十分に質問・理解	24	3	1	0	0	0

2. 看護師・介護職員の対応について

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
1. 言葉遣い	24	3	1	0	0	0
2. 質問に親切	24	3	1	0	0	0
3. 身だしなみ	25	3	0	0	0	0
4. 誠実で優しい対応	25	3	0	0	0	0
5. ナースコールしてからの時間	21	4	3	0	0	0

3. 施設・機能について

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
1. トイレ・洗面台・手洗い	24	1	2	0	0	1
2. 病院内の案内表示	16	4	4	0	0	4
3. 食事の献立の工夫	19	6	1	1	0	2
4. 食事は美味しい	15	8	2	1	0	2
5. 食事の配膳時間	23	4	0	0	0	1

4. 情報提供について

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
1. 医師の治療の説明	26	1	1	0	0	0
2. 院内の表示	21	2	2	0	0	3
3. 患者さんのプライバシー	24	3	1	0	0	0

5. 職員の患者さんへの対応・印象について

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	会っていない	未記入
1. 事務職員	2	1	2	0	0	0	0
2. 医療福祉相談室	0	2	1	0	0	1	1
3. 管理栄養士	2	2	1	0	0	0	0
4. 薬剤師	0	0	3	0	0	1	1
5. リハビリ職員	2	2	1	0	0	0	0
6. 放射線技師	24	2	2	0	0	0	0
7. 検査技師	2	1	1	0	0	0	1
8. 工学技師	0	1	1	0	0	1	2

6. 全体の印象について

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
1. 不満・疑問・要望	23	2	2	0	0	1
2. 全体的な満足度	24	3	1	0	0	0

職員満足度

・ やりがい度調査

17項目の内容で調査。「そう思う」「やや思う」と回答した割合を示しています。

「そう思う」「やや思う」と回答した人数/全回答者数

2020年度総計 156名 (235名配布 回収率66%)

2021年度総計 172名 (231名配布 回収率74%)

単位:人 %

質問内容	2020年度		2021年度	
	人数	割合	人数	割合
①現在の仕事にやりがいを感じますか。	140	90%	150	87%
②現在の仕事が自分に向いていると思いますか。	129	83%	135	78%
③スキル・能力が身につく仕事だと思いますか。	134	86%	146	85%
④現在の仕事に意義や価値を感じますか。	142	91%	147	85%
⑤能力や仕事への姿勢、成果は正當に評価されていると思いますか。	119	76%	119	69%
⑥悩み、要望を聞いてくれる上司や仲間が周りにいますか。	135	87%	144	84%
⑦自分の業務が社会や病院のためになっていると感じますか。	141	90%	151	88%
⑧職場の方針や業務の進め方の決定に参加する機会があると思いますか。	97	62%	103	60%
⑨自由に意見や提案ができるなどみんなが協力し合う雰囲気があると思いますか。	121	78%	115	67%
⑩ハラスメント(セクハラ・パワハラ)は許されないという認識が浸透していると思いますか。	106	68%	117	68%
⑪職員に必要な情報が確実に伝えられていますか。	91	58%	104	60%
⑫仕事内容や責任に見合った給与を受けていると思いますか。	102	65%	112	65%
⑬現在の昇任の仕組みは適切なものだと思いますか。	82	53%	107	62%
⑭有給休暇など、お休みは取得しやすいですか。	128	82%	138	80%
⑮自身の人事異動(配置)に満足していますか。	128	82%	140	81%
⑯福利厚生は充実していると思いますか。	72	46%	86	50%
⑰これからもシャロームで働きたいですか。	135	87%	149	87%

- ・ 離職率 働きやすく、かつ定着を促進する環境づくりに努めています。
当院部署ごとの離職率を示しています。

	医師	看護師 常勤	看護師 非常勤	事務常勤	事務 非常勤	医療技術者 常勤	医療技術者 非常勤
離職率(%)	9	10	26	18	10	5	67
職員合計(人)	11	62	27	34	20	21	3
退職者数(人)	1	6	7	6	2	1	2
	医療福祉 相談室常勤	チャプレン	ヘルパー 常勤	ヘルパー 非常勤	全体		
離職率(%)	0	0	6	13	13		
職員合計(人)	3	1	17	8	207		
退職者数(人)	0	0	1	1	27		

- ・ 有給消化率 当院部署ごとの有給消化率を示しています。

	医師	看護師 常勤	看護師 非常勤	事務常勤	事務 非常勤	医療技術者 常勤	医療技術者 非常勤
消化率(%)	24	47	64	46	73	44	81
付与日数(日)	345	1758	362.5	872.5	245	624	62
使用数(日)	84.5	835	232.5	397	180	276	50
	医療福祉 相談室常勤	チャプレン	ヘルパー 常勤	ヘルパー 非常勤	全体		
消化率(%)	44	50	53	67	49		
付与日数(日)	93	40	524.5	111	5037.5		
使用数(日)	41	20	278.5	74	2468.5		

予防医療

- ・ 職員喫煙率
自らの健康への配慮も十分に行う必要があり、病院敷地内禁煙が強く求められ、当院でも実施しています。
当院職員の禁煙者数を示しています。
喫煙者数/職員数

(回収率100%)

総数(人)	220
喫煙者数(人)	5
喫煙率(%)	2.3

- ・ 職員健康診断受診率
職員の安全と健康を確保するために、労働安全衛生法により、全職員に実施することが義務付けられています。
当院職員健康診断を受けた数を示しています。

健診受診者数/職員数

* 2回目対象者: エクセルバッジ保持者、夜勤者、エチレンオキサイトガス使用者

	1回目	2回目
総数(人)	187	60
受診者数(人)	184	59
休職者数(人)	3	1
受診率(%)	100	100

※休職者を除く

- ・ 研修受入件数

当院は、未来を担う医師、看護師、コメディカルを育成していくことも大切な役割の一つと考えております。年間を通して様々な研修生を受け入れています。

単位:人

所属	人数
障害者雇用に向けた職場実習	1
埼玉医科大学 看護部4年生	4
埼玉医療福祉会看護専門学校 訪看実習	6
埼玉医科大学医学部 6年生	7
(株)カネカメディックス東京第二営業所 血液浄化チーム	1
メキシコより国際留学生	1
清泉女学院大学	1

活動報告

- 【訪問看護ステーションシャローム】
- 【介護支援事業所シャローム】
- 【ヘルパーステーションシャローム】

訪問看護ステーション



概要

病気や障害をお持ちの方や高齢者の方などが、住み慣れたお家で安心して生活して暮らしていただけるように医療・介護サービスと連携を図りながら援助しています。

利用者様の主治医（かかりつけ医）の指示に従い、病状の観察・清拭・入浴介助・洗髪・食事や排泄などの介助や指導・医療機器の管理・床ずれの処置や手当の指導・内服薬の相談や残薬の確認・点滴やカテーテル管理（胃ろう・尿留置カテーテル）

ターミナルケア（がん末期や終末期を自宅で過ごせるように支援）など、経験を積んだ看護師が、スタッフ同士皆で横の連絡も常に行いながらご自宅に訪問しケアを行っています。

職員

2022年3月31日現在

管理者	1名		
正看護師	12名	（常勤）：7名（管理者含む）	（非常勤）：5名
理学療法士	2名	（常勤）	
事務員	1名	（常勤）	

2021年度目標

- ①本人やご家族の気持ちを尊重し、信頼関係を作りながらそれぞれの生活の場にあった住み慣れたお家で生活して暮らしていただけるように思いやりのある丁寧な看護提供をする。また、地域や関係医療機関と連携を図りながら、地域に密着したステーションを目指す。
- ②後継者の育成に努め看護学生の実習の受け入れを行い、将来の仲間として各学校のすべての学生が安全に無事故で当訪問看護ステーションの実習を終了することができる。
- ③スタッフの間で、報告・連絡・相談が常に行われスタッフの業務の達成感の向上を図っていく。
- ④月1回のミーティング・院内外の研修に積極的に参加し、また共有し職員のケアの質の向上を図っていく。
- ⑤働き方改革を念頭に置き、訪問看護師の人数増員を目指し、負担ないように働き続けられる職場作りをしていく。
- ⑥COVID-19 感染対策の強化を行っていく。

目標の達成・反省

- ① 新規利用者数は 98 人、院内外の方々よりご相談があり支援しました。
ご自宅や施設での看取りを 33 人、心をこめてご家族の方とともに一緒にケアさせていただきました。今後も在宅生活の中で安心して過ごしていただけるように他職種と連携し支援していきます。
 - ② 埼玉医科大学保健医療学部（4 年生）看護学生は、5 月から 7 月まで 6 名の実習生を受け入れました。安全に実習を終了する事ができました。私共スタッフ全員振り返りを行い次年度の実習につなげていきます。
 - ③ ステーション内の研修は、新型コロナウイルス感染症拡大傾向にてお休みしておりますが、密を防ぎながらこの数年は院内・外部の WEB での研修に参加し知識を深め皆で共有しています。また、次年度も今後各委員会の研修にも積極的に学び、他スタッフと共有し、レベル高い知識と向上心を持ち行っていきたいと思います。
- 2020 年 4 月より理学療法士 2 名、看護師 12 名、事務 1 名にて計 15 名で運営しています。MCS（メディカルケアステーション）を活用し、今までは紙カルテでの記録管理を行っていましたが 2021 年 9 月よりタブレットを活用し記録管理をはじめました。各自がタブレットを持参し、訪問先や移動中の隙間時間など職員間の情報を効率よく行うことができるようになりました。今後も抜け落ちがないように報告・連絡・相談を密に行い他職種と連携を図り、皆が一つの同じ方向性で進めるようにまた、これからも風通しの良い職場にしていきたいと思います。また、次世代の看護師の募集をかけつつ、よりよい支援ができるよう健康にも気をつけてまいります。スタッフ一同でシャローム病院の理念に寄り添いながらやさしく温かい医療に努めていきたいと思っています。

実績

*新規状況（2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日）（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	2021	2020
新規	5	18	2	10	6	10	6	8	9	9	8	6	97	118
介護	3	12	1	4	3	5	2	4	4	4	5	4	51	61
医療	2	6	1	6	3	5	4	4	5	5	3	2	46	57

*訪問看護 在宅看取り数（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

在宅看取り人数	33
自宅	28
施設	5

*2021 年度 看護学生実習生（2021 年 5 月 10 日～2021 年 7 月 1 日）

埼玉医科大学保健医療学部看護学科 6 名

介護支援事業所



概要

介護保険サービスのご利用者様の相談窓口です。ご利用者様の要望や心身の状態に合わせ、医療サービス、市町村、地域包括支援センター、介護サービス事業者との連携を図り、安心して日常生活が送れるよう支援しています。利用者様の有する能力に応じ自立した日常生活を送ることができるよう配慮し、ケアプランを作成します。

また、利用者様のご自宅へ毎月定期的に訪問し、新たな相談事はないか確認させていただいています。

入院中の患者様（要介護者）やご家族へ退院後の介護サービス計画を提示することで安心して在宅への移行ができるように支援しています。

職員

管理者		1名（介護支援専門員兼務）
介護支援専門員	常勤	4名
	非常勤	1名（主任ケアマネ4名）
基礎資格	看護師	1名
	介護福祉士	4名
事務員		1名

2021年度目標

- ・要介護者様とご家族の要望に添えるように、医療と介護の多職種で連携を図り優しく、温かいサービスが提供できるように努めます。
- ・研修に参加する事でスキルアップし日々の業務に活かします。
- ・週1回のミーティングで情報を共有し、チームワークを図りながらより良いサービスに繋がっていきます。
- ・利用者の声に耳を傾け、温かい心と冷静な判断、幅広い知識をもって、関係機関と連携しつつ自立支援の観点に立って、その人にふさわしいケアプランを提供し、適切な給付管理を行う。
- ・適切な情報収集をし、引き続き新型コロナウイルスの感染予防に努める。

目標の達成・反省

- ・それぞれがもてる力を十分に発揮し、協力し合いながら支援することで例年とほぼ同様の利用者実績を維持することが出来ている。
- ・新型コロナウイルス感染予防の対策についてそれぞれが意見を出し合い、在宅勤務を導入するなどこれまでのやり方にとらわれない柔軟な動きを取り入れることで、感染リスクを下げつつ臨機応変な対応をすることができた。また、在宅勤務を導入する中でも朝のミーティングをZOOMで行えるように環境を整えるなど改善点を見つけながら取り組むことが出来た。

参加研修の内容

- ・ケアマネジメント従事者研修
- ・介護支援専門員レベルアップ研修
- ・認知症、医療研修
- ・高齢者虐待防止研修
- ・在宅医療と介護の連携
- ・地域包括ケアシステムについて
- ・緩和ケア研修
- ・事例検討会

以上は研修内容の一部ですが、研修に自発的に参加し個々でスキルアップを図っております。特に医療と介護の連携については今後の課題となるためこれからも新しい知識を習得し日々の業務に活かしていきます。

実績

2021 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数（継続）	164	164	164	163	162	158	156	158	160	161	164	158	1932
契約者数（新規）	6	6	6	2	2	3	3	7	3	6	7	4	55
契約終了者	5	6	4	2	2	1	3	2	5	5	8	2	45
計	165	164	166	163	162	160	156	163	158	162	163	160	1942

※ケアマネ一人の担当件数には制限があります。

毎月新規利用者様の電話相談、窓口相談、医療相談員からの相談等が多数あります。

入院・入所・死亡等により毎月のご利用者様の増減の変化も多いことが当事業所の特徴です。

※その他実績としては相談業務以外にご利用者様の申請等に係る代行を市町村に行います。市役所から委託された認定調査を実施しています。

ヘルパーステーション



概要

介護保険（訪問介護・通院等乗降介助）

生活サポート（在宅介護・送迎・外出援助）

職員

管理者	1名		
サービス提供責任者	2名		
訪問介護員	12名	}	介護福祉士 9名
			ヘルパー2級 3名
事務員	1名		

2021年度目標

- ① 利用者様の心身の特性を踏まえ、能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう援助する
- ② 関係機関と連携を図り総合的なサービスの提供に努めます
- ③ 「あたたかい介護・心のケア」を目指し利用者様のお気持ちに寄り添います
- ④ スタッフの質の向上を図る
- ⑤ ヘルパーの働きやすい職場作り
- ⑥ 感染対策の強化を継続する

目標の達成・反省

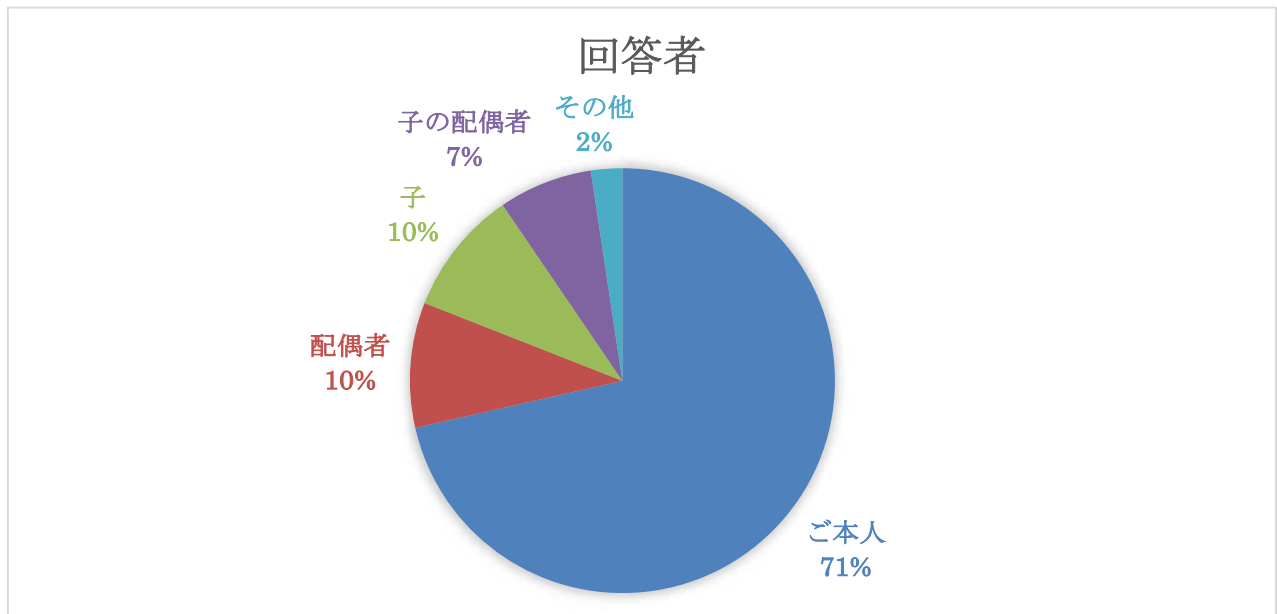
- ① 自立に向けた援助をおこなっているが、時間など制約もありヘルパーがやりすぎてしまう面も見受けられるため気をつけていきたい。
- ② MCSを常に確認、体調の変化などよりよいサービスに繋げることができた
- ③ 緩和の利用者様とご家族に対し、お気持ちに寄り添い心のケアに務めることができた
- ④ この数年コロナ禍で研修機会が減ってしまった。研修方法を工夫し機会を増やす
- ⑤ 10年以上勤務のヘルパーばかりで、気心の知れた仲間、お互いを思いやり、一緒に切磋琢磨しながら働いて下さっています
- ⑥ 各自、感染対策には人一倍神経を使って訪問している。利用者様はもちろんヘルパーの中にも感染者を出すことなく訪問を続けてくれています

実績

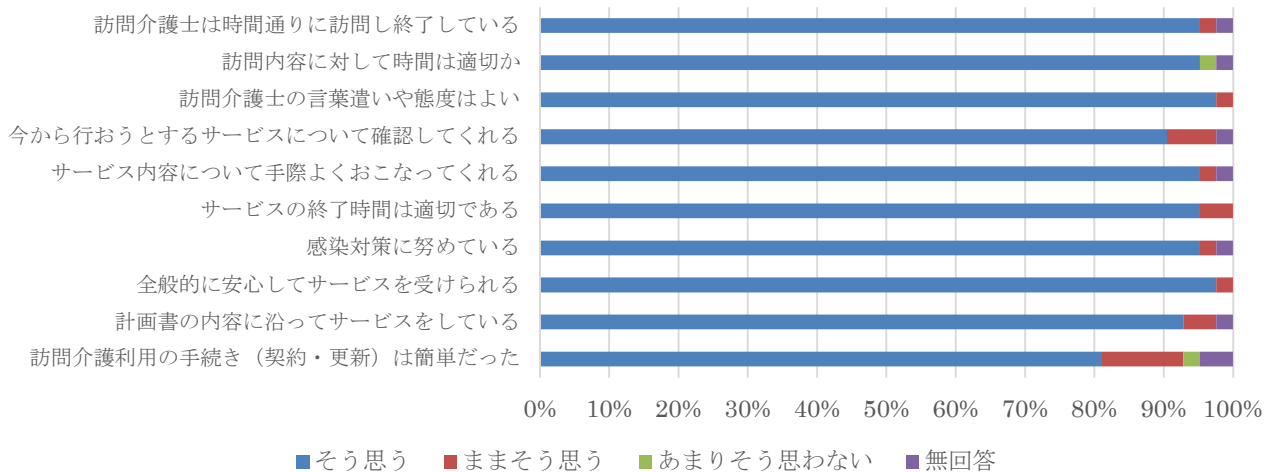
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用者	44	42	45	46	42	43	46	47	47	50	49	47	548
介護保険利用者(新規)	1	4	4	2	2	1	3	1	3	3	2	1	27
介護保険終了者	7	5	1	1	4	2	0	1	1	3	2	1	28
生活サポート利用者	14	11	11	16	9	9	8	6	6	9	7	6	112

サービスに関するアンケート

アンケート回答率 85 %



訪問介護士が行うサービスについて



【事業所へのご意見】

○お世話になっています。利用者の気持ちに寄り添って頂き、ペースに合わせて頂き、耳の遠い父に大きな声で語りかけて頂き、毎週の訪問が少しずつ記憶となっていること嬉しく思います。

今後もお世話になります。

○いつも大変お世話になり感謝しております。

サービス利用代金の支払い方法が口座引き落としに今後なると、家族としては更に有難いです。

○来てもらうだけで充分のケアになる。また家族以外の方との会話はとても必要なことのひとつだと思います。家族が初めて聞くこともあるし、笑う事もある
(家族で笑う事はめったにありません)

○1人住まいですので、何が起こるかわかりませんので訪問時間、玄関が開いていない時は庭の方から入って家中を見てください。

シャロームにつさい医院

医 院 概 要

シャローム病院の分院として 2011 年 4 月に坂戸市に開院しました。

診 療 科 目

内科、神経内科、胃腸内科、乳腺外来、頭痛外来、もの忘れ外来、女性外来、禁煙外来、訪問診療、往診、その他各種健診、予防接種

機 器

レントゲン、マンモグラフィー、超音波検査、心電図、上部および下部内視鏡

職 員 数

(2022 年 3 月 31 日現在)

職種	常勤	非常勤
医師	1	3
看護師	1	3
放射線技師		1
臨床検査技師		1
事務職員	2	1

診 療 実 績

1. 患者数

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
外来患者数	9823	9663	9040	7861	9935
一日平均外来患者数	34.8	34.1	32.4	27.6	34.9

2. 訪問患者数

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
訪問患者数	5	7	7	6	2
年間訪問患者延べ人数	46	62	106	41	23

3. 超音波検査

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
乳腺超音波検査	185	162	184	174	183
その他超音波検査	94	68	58	63	73
超音波検査総数	279	230	242	237	256

4. マンモグラフィー

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
市町村乳がん検診	224	229	195	232	264
その他(自費・健保)	160	141	160	148	154
合計	384	370	355	380	418

5. 内視鏡検査

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
上部内視鏡	129	156	174	141	170
下部内視鏡	52	36	50	39	32

6. 人間ドック

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
人間ドック受診者数	17	11	18	10	12

2021年度 学会発表・講演・論文発表など

コメンテーター

- 「オンジェンテイス focus on seminar」 2021年3月23日 坂戸グランドホテル zoom パネリスト
「パーキンソン病治療 The Next2021」 2021年8月31日 坂戸グランドホテル zoom 配信

座長

- 「片頭痛を考える会 on. Web」 2021年10月15日 坂戸文化会館 zoom 配信
「坂戸鶴ヶ島地区 神経疾患勉強会」「片頭痛治療の最前線」 2022年2月15日 坂戸グランドホテル zoom 配信

2021年度をふりかえって

新型コロナワクチン接種業務が始まり、忙しい1年でした。

医療法人社団シャローム

